

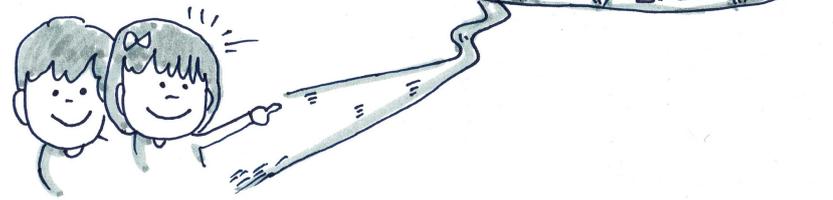
令和元年度

9名の隊員が活動しました

～安平町地域おこし協力隊活動短信～

イラスト / 石川恵理 (遊びプロ推進員)

地域おこし協力隊とは、意欲ある都市人材を積極的に受け入れ、まちの課題解決に向けた任務に携わっていただき、地域活動や兼業なども行いながら安平町への定住定着を図ることで、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。令和元年度は、9名の隊員が活動を行ってきました。



遠藤 玲奈 (農産物直売所推進員)

/ 平成30年12月～

道の駅にある農産物直売所「ベジステ」の運営を担当しています。令和元年度はベジステのオープンに向けた店舗準備やPR、生産者68名の出荷サポート等を行いました。また、道の駅オープン後は「収穫祭テント販売」や「正月のお餅つき」など、来場者増加に向けたイベントを積極的に企画しました。ベジステは当初の想定を大幅に上回る販売実績を上げており、その成果に貢献しています。その他、早来アグリファームでの「農業研修」や毎月開催される生産者協議会役員会への参画など、農直運営に必要な食品表示や衛生管理、消費者・生産者等とのコミュニケーションといったノウハウを身につけてきました。



溝口 駿（復興支援員）

/ 平成31年1月～

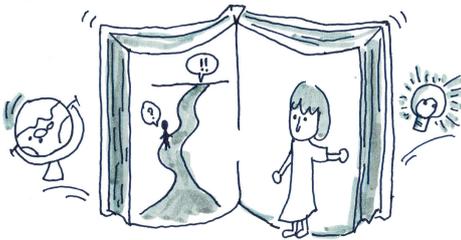
「震災からの復興には、まちの賑わいが不可欠」そんな思いから復興支援員として、昨年オープンした道の駅を拠点に町内外の交流を生む様々なイベントを企画・運営してきました。令和元年度だけで17回のイベントを開催。その他商工会青年部が開催した復興イベントにも参画するなど、年間85万人を記録した道の駅への来場者数の獲得をはじめ、町の交流人口増加に大きく貢献しました。特に道の駅におけるイベントでは、町内外で活躍する各種企業・団体とのタイアップやかかわる人々との交流を意識した“次に繋がる賑わいづくり”を心がけているそうです。



河嶋 愛基（学びサポート推進員）

/ 平成31年4月～

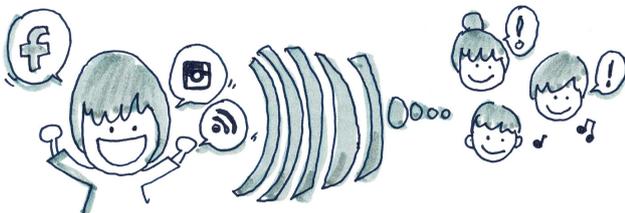
教えない学習教室「あびらぼ」を運営してきました。令和元年6月から追分と早来で週2回の通常プログラムを行い、合計23名の小中学生が参加しました。「冒険」「学び」「記憶」をテーマに行った3つの「探究授業（テーマを深掘りして自分の知らない視点や考え方に会う授業）」では、参加した生徒がたくさん新しい気づきと出会い、目を輝かせていました。また、あびらぼ主催イベントとして、新千歳空港で外国人旅行者に対して北海道に来た理由を聞く『WHY北海道へ?』、北海道大学に1日限定で入学する『1日北大生体験』、HBC北海道放送およびクックパッド株式会社と共催した『オリジナル災害食&絵本づくり』など、様々な企業・団体とコラボしたユニークな企画を計12回行い、合わせて180人が参加しました。



台 正人（復興支援員）

/ 平成31年1月～

「安平町の復興に関する情報発信全般」の担当として、Facebookやインスタグラムを活用して、安平町復興ボランティアセンターの活動や道の駅イベント情報を発信してきました。1年間で45もの活動・イベントを取材・発信してきたことで、交流人口の増加と安平町ファンの獲得に貢献しました。情報発信を行う時は「誰に向けて情報を発信するか？」を考え、読み手がワクワクするような書き方を意識しています。「安平町の台くんが発信する情報は面白い」といった評判はマスメディアにも広がっており、令和元年6月から苫小牧民報で全16回のコラムを書いたりもしています。



松岡 亮（クラウドファンディング推進員）

/平成31年4月～

クラウドファンディング（オンライン資金調達手法）を活用して町民の挑戦を支援する取り組み「カイトプロジェクト」を行ってきました。令和元年度は5つのクラウドファンディングをサポートし、延べ532人の支援者から約587万円の資金調達に成功しています。また、安平町内の挑戦者を増やすための取り組みとして「あびらチャレンジャー育成プログラム」を立ち上げ、一つ目の挑戦として「子どもたちが自分で企画し、旅の計画・準備・実行までを全て自分で行き、実際に海外への渡航に挑戦するプログラム（名称:キミ旅プログラム）」を企画しました。令和2年度夏に実施（予定）に向けて、子どもたちの挑戦をサポートしています。



安平町に障がいのある方も安心できる“居場所”を作りたい

WFO&Aとあびら町（北海道安平町）



目標金額 1,667,000円

目標金額 1,667,000円

支援者数 220人

達成率 7日

2019年9月30日

プロジェクトが達成しました！

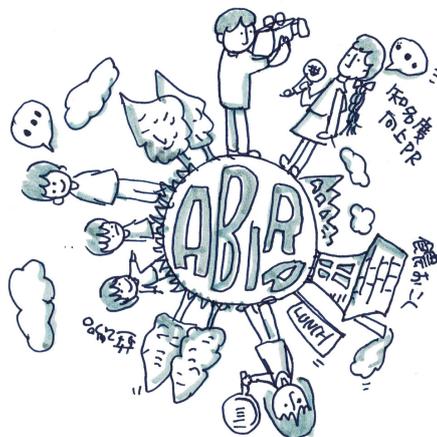
Go to top

Go to top

Go to top



これら5名の隊員のほか、知名度向上PR専門員としてあびらチャンネルの番組制作などで活躍した武田増満さんと河合香織さんが令和元年12月までの3年間、食農おこし推進員として安平地区のここ茶屋の運営を中心に活躍した芦谷操さんが令和2年3月までの3年間、遊びプロ推進員として子ども自身が主体的に遊んで育つ環境を作る「遊育事業」を進めた石川恵理さんが令和2年3月までの1年間をもって、任期満了により退任となりました。



令和2年度は、遊びプロ推進員の後任となる鈴木宙夢さんが4月から、新たな任務となるシティプロモーション推進員として木下知佳さんが5月から新メンバーとして着任しますので、どうぞよろしくお願いいたします。新しい隊員については、改めて広報紙等で紹介していきます。



河合 香織さん



武田 増満さん



石川 恵理さん



芦谷 操さん

